

小学生が巨大壁画（4m×7.2m）を作成中！ 「風神雷神図屏風」を貼り絵で表現 ～ あきる野市立草花小学校5・6年生児童が挑戦中 ～

あきる野市立草花小学校の5年、6年生は、次の3点を学習のねらいとして、日本の代表的な美術作品の一つ、国宝「風神雷神図屏風」（俵屋宗達作・1600年代）を貼り絵の表現技法を使って、巨大な壁画（高さ4m、横幅7.2m）として表現する創作活動に取り組んでいます。

○ 学習のねらい

- ・美術作品を鑑賞しながら、自分たちで表現する活動を通して、その良さや美しさを感じ取る。
- ・日本の代表的な作品を貼り絵に表すことで、自国の伝統文化への理解を深める。
（オリンピック・パラリンピック教育で育成すべき資質「日本人としての自覚と誇り」）
- ・全員で一つの大きな作品を作り上げる活動を通して、協力することの大切さを理解する。

平成29年11月10日・11日に実施予定の当小学校の展覧会での発表を目指して、創作活動に取り組んでいます。

○制作工程	6月上旬	・・・	下描き
	6月中旬～10月中旬	・・・	色画用紙を貼って色付け
	10月下旬	・・・	各ピースのつなぎ合わせ
	11月上旬	・・・	体育館に設置
	11月10日～11日	・・・	展覧会当日（展示発表）

- 制作方法
- ・ベニヤ板（縦90cm×横45cm）を1ピースとして、64枚のピースに分けて制作し、つなぎ合わせて1枚の巨大壁画とする。1ピースは4人で制作します。
 - ・板にチョークと墨で下描き。色画用紙の破片を洗濯のりで貼り付けて色彩を表現します。
 - ・ベニヤ板を垂木でつなげて大きなパネルとして展示します。

問合せ先 あきる野市立草花小学校 校長 浅野正道
電 話：042-558-1133